

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成27年5月28日 (2015.5.28)

【公表番号】特表2014-509801(P2014-509801A)

【公表日】平成26年4月21日 (2014.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-020

【出願番号】特願2013-558319(P2013-558319)

【国際特許分類】

H 0 1 P 1/18 (2006.01)

H 0 1 P 3/08 (2006.01)

H 0 3 H 7/18 (2006.01)

H 0 3 H 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 1 P 1/18

H 0 1 P 3/08

H 0 3 H 7/18 E

H 0 3 H 7/20

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年4月10日 (2015.4.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

調整されるべき入力信号を受け取るように動作可能な入力部と、

前記入力部を出力部と結合する混成カプラ（110）と、

前記入力信号を受け取るために前記混成カプラとやはり結合された集中等価インピーダンス変成器回路を含む少なくとも 1 つの反射負荷（10、10A～10C、10'）であって、前記集中等価インピーダンス変成器回路が、印加されるバイアス電圧に応じて前記入力信号を調整するように、かつ前記調整済み入力信号を前記混成カプラに出力信号として供給するように動作可能な液晶可変コンデンサを有する、少なくとも 1 つの反射負荷（10、10A～10C、10'）と

を備え、

前記集中等価インピーダンス変成器回路が、

半波長集中等価インピーダンス変成器回路であって、該半波長集中等価インピーダンス変成器回路が直列の 1 対のインダクタを含み、該直列の 1 対のインダクタが第 1、第 2 および第 3 の液晶可変コンデンサに端部で結合され、該第 1、第 2 および第 3 の液晶可変コンデンサが、バイアス電圧に応じて、可変インピーダンスおよび可変の有効電氣的長さの両方を、混成カプラに提供して、調整済み位相入力信号を出力信号として供給するように動作可能である、半波長集中等価インピーダンス変成器回路と、

半波長集中等価インピーダンス変成器回路であって、該半波長集中等価インピーダンス変成器回路が直列の 1 対の液晶可変コンデンサを含み、該直列の 1 対の液晶可変コンデンサが第 1、第 2 および第 3 のインダクタに端部で結合され、該第 1、第 2 および第 3 のインダクタが、バイアス電圧に応じて、可変インピーダンスおよび可変の有効電氣的長さの両方を、混成カプラに提供して、調整済み位相入力信号を出力信号として供給するように動作可能である、半波長集中等価インピーダンス変成器回路とのうちの一方を備え、

前記集中等価インピーダンス変成器回路が、4分の1波インピーダンス変成器（15）によって結合された少なくとも1対の前記半波長集中等価インピーダンス変成器回路を含む、移相装置（100、100A）。

【請求項2】

前記第1および第2の液晶可変コンデンサが、等しい静電容量を有する、請求項1に記載の移相装置。

【請求項3】

前記第1および第2の液晶可変コンデンサのリアクタンスの絶対値が、前記1対のインダクタそれぞれのリアクタンスの絶対値と一致する、請求項1または2に記載の移相装置。

【請求項4】

前記第2の液晶可変コンデンサが、前記第1および第3の液晶可変コンデンサそれぞれの前記静電容量の2倍である静電容量を有する、請求項1乃至3のいずれか1項に記載の移相装置。

【請求項5】

前記1対の液晶可変コンデンサが、等しい静電容量を有する、請求項4に記載の移相装置。

【請求項6】

前記第1および第2のインダクタのリアクタンスの絶対値が、前記1対の液晶可変コンデンサそれぞれの絶対値と一致する、請求項4または5に記載の移相装置。

【請求項7】

前記第2のインダクタが、前記第1および前記第3のインダクタそれぞれのインダクタンスの半分であるインダクタンスを有する、請求項4乃至6のいずれか1項に記載の移相装置。

【請求項8】

前記集中等価インピーダンス変成器回路が、少なくとも1対の前記半波長集中等価インピーダンス変成器回路を含む、請求項1乃至7のいずれか1項に記載の移相装置。

【請求項9】

前記集中等価インピーダンス変成器回路が少なくとも1対の前記半波長集中等価インピーダンス変成器回路を含み、該少なくとも1対の前記半波長集中等価インピーダンス変成器回路の両方が前記混成カプラに並列に結合されている、請求項1乃至8のいずれか1項に記載の移相装置。

【請求項10】

前記集中等価インピーダンス変成器回路が、4分の1波インピーダンス変成器（15）によって結合された前記半波長集中等価インピーダンス変成器回路の少なくとも第1の対と、4分の1波インピーダンス変成器によって結合された前記半波長集中等価インピーダンス変成器回路の少なくとも第2の対とを含み、前記第1の対および前記第2の対の両方が前記混成カプラと並列に結合される、請求項1乃至9のいずれか1項に記載の移相装置。

【請求項11】

前記液晶可変コンデンサが平行板液晶可変コンデンサを含む、請求項1乃至10のいずれか1項に記載の移相装置。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

一実施形態では、第1および第2の液晶可変コンデンサは、等しい静電容量を有する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0017

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0017】

一実施形態では、1対の液晶可変コンデンサは、等しい静電容量を有する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0043

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0043】

回路網10は、2つのインダクタおよび3つの液晶可変コンデンサを含む。各インダクタは、点Aと点Bの間に直列に配置される。第1のコンデンサは、点Aに対してインダクタの1つと並列に設けられる。同様に、1つのコンデンサが、点Bに対して第2のインダクタと並列に設けられる。第3のコンデンサが、第1と第2のインダクタの間のノードに結合されて設けられる。これらのインダクタは、等しいインダクタンスを有する。第1および第2のコンデンサは、等しい静電容量を有する。第3のコンデンサの静電容量は、第1または第2のコンデンサのそれぞれの2倍である。第1または第2のコンデンサのリアクタンスの絶対値は、第1または第2のインダクタのリアクタンスの絶対値と一致する。